

「マッチングゲームに挑戦！」

—作品の共通点を見つけよう—

- *ねらい
 - 作品を多様な視点（色・形・材料・モチーフ・雰囲気など）で見ようとする。
 - 自分が感じたことや見つけたことを言葉で表す。
 - ゲームを通して様々な見方や感じ方があることに気づく。
- *準備物
 - <アートカードみえⅠ>または<アートカードみえⅡ>をグループ数分
 - 筆記用具
 - ワークシート
- *場の設定
 - 1グループ4～6人
 - 児童生徒机4脚分程度の広さ
- *評価
 - マッチングゲームを楽しむことができたか。（関心）
 - 共通点を見つけ、自分なりの言葉で表すことができたか。（鑑賞）
 - 関心を持って他の人の考えを聴くことができたか。（鑑賞）
- *備考
 - 「一度使われた共通点は使えない」など、学年に応じたルールを導入してもよい。

★ワークシート例★

名前()	
めあて <u>「共通点を見つけ、自分なりの言葉で表す」</u>	
●とったカード	<input type="text"/> まい
●感想を書こう	

「マッチングゲームに挑戦！」

—作品の共通点を見つけよう—

★授業展開の例★

学習活動	指導のポイント
<ul style="list-style-type: none">●アートカードで「マッチングゲーム」をすることを知る。	<ul style="list-style-type: none">○マッチングゲームとは、2つの作品に共通することがらを見つけ出すゲームであることを伝える。○共通点は、色・形・材料・モチーフ・雰囲気など、多様な視点で見つけることができることを伝える。
<ul style="list-style-type: none">●マッチングゲームをする<ul style="list-style-type: none">・ルールを知る・アートカードをセットする	<ul style="list-style-type: none">○ゲームの方法を伝える。(ルール参照)○グループごとに「アートカードみえ」を1セット配る。
<ul style="list-style-type: none">●ワークシートに記入する	<ul style="list-style-type: none">○ワークシートを配布する
<ul style="list-style-type: none">●後片付けをする。	<ul style="list-style-type: none">○カードは上下の向き(裏面のシール位置)をそろえ、番号順に並べて返却させる。

<ゲームの手順とルール>

- ・アートカードをシャッフルし、1枚を表向けて「場のカード」として置き、残り全部を裏向けて積んでおく。
- ・グループ内で順にプレイヤーとなる。
- ・プレイヤーは積んだアートカードから1枚をめくり、「場のカード」の作品と共通することがらをあげる。
- ・グループ内の過半数が納得したら、どちらか1枚を獲得することができる。共通点をあげられない場合や賛同が得られなかった場合は、次の人に回答権が移る。
 - *その他、細かいルールについては、子どもの実態に合わせて決める。
 - *子どもの集中力や学習効果などを考えると、途中で一旦やめさせ、紹介・交流・ふり返りをした後、再開する方法がよいと思われる。